

大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：毎週水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター TEL0475-73-3337 FAX73-4360
- 事務所：〒299-3251 大網白里町大網450-6 ユアサビル2階 TEL0475-70-0200
- 会長：宮間 文夫 幹事：大越 将司
- 広報・公共イメージ向上委員会 委員長 石田 英世 副委員長 小高 徹



2019年1月23日(水)

第20巻 第26号

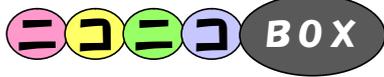
通巻第887

http://www.oamirotary.com
E-mail rc@oamirotary.com



本日の例会

点 鐘 会長 宮間 文夫
ソング 手に手つないで
会長挨拶 会長 宮間 文夫
幹事報告 幹事 大越 将司
会員卓話 古山 豊 先生



堀本 孝雄 会員
誕生日祝い、有難う御座いました。
お陰様で71才、いたって健康です。

例会日	1月16日	12月19日
会員数	30	30
出席	22	17
欠席	8	13
MU	0	4
免除	1	1
出席率	76.67	73.33

会長挨拶



宮間文夫会長

皆さん、こんにちは。正月の日も16日になりましたが、いかがお過ごしでしょうか？

横網稀勢の里が引退するみたいですね。残念です。

サッカーの話としては、毎年正月に行なわれております、全国高等学校サッカー選手権という大会があります。私が高校生の時は、兵庫県西の宮サッカー場で1回戦から決勝まで、1会場で行なわれていました。野球の甲子園と同じです。今は首都圏開催になりました。ところで今大会の準決勝で、福島県代表の尚志高校が優勝した青森山田高校と戦ってリードしていたんですけども、最後追いつかれてPK戦で敗れて決勝に進めませんでした。

この尚志高校サッカー部というのは、習志野高校から順天堂大学に進み、福島のクラブチームでプレーしていた中村先生が強くしていった高校です。

私の教え子であり、四之宮会員のお孫さんの同級生の内山俊彦君が、尚志高校を初めて選手権出場に導いたと言っても過言ではありません。大網白里市の白里小学校、白里中学校とサッカーを学び、現在もプロサッカー選手として活躍しています。たまには実家に帰ってくるそうです。成長した姿を見たいものです。

本日は、四之宮会員より「勝負の世界」と題しまして、卓話をいただけるそうですので、どうか宜しくお願ひします。

それでは、会員の皆様方におかれましては、ご自愛下さしまして、ご活躍下さいますよう祈念いたします。ありがとうございました。

誕生祝・奨学金授与式



写真左 堀本孝雄会員 S23 (1948) 1.13

おめでとうございます。

次年度テーマ発表



2019-2020 年度会長テーマ

「ロータリーは世界をつなぐ」



<1月例会予定>

①1月23日(水) → 通常例会
古山 豊 先生
※プロジェクト準備

②1月30日(水) → 休会

<2月例会予定>

①2月6日(水) → 通常例会
理事会 於大綱RC事務所 10:30
奨学金授与式 ナディーシャさん
誕生祝 該当者なし

卓話 安川貞子様 他2名
「朗読・紙芝居」

<朗読内容>
悲しみの黄土 白子町在住田中茂様
満州体験手記
朗読 安川 貞子 様

お母さんの昔話 長谷川ゆい様作
母が語る子守唄から
朗読 山本むつ様

<紙芝居>
水に浮いた神社
チリ津波を体験した漁師の方から直接
聞いたお話と元禄16年11月23日の大
津波で四天木、赤城様の裏山に逃げた
人々が助かったと言うお話をベースに
創作
山本むす子様、安川貞子様、秋葉京子様

②2月13日(水) → I.M.
(インターシティ・ミーティング)
会場: サンライズ九十九里

③2月20日(水) → 通常例会
高中 洋 様

④2月 27日(水)
卓話 奨学生 曹 旭発 (ソウキョク
ハツ) 様
※プロジェクト・パソコン準備

勝負の世界

スポーツ界では、今年の箱根駅伝は、常勝、青山学院大学でなく、東海大学が総合優勝をしました。想定内とは言え、他の大学も打倒青山学院を目指して、それ以上の努力をしている結果だと思えます。

又、明るい話題としては、世界スキージャンプ週間でも日本の小林陵侑選手が優勝、安定して6連勝と実力を見せつけています。飛び出す時に少しでも高く飛ばせば、飛距離が出る事がわかりました。そのようにスポーツでは、ちょっとしたヒントやきっかけがあれば急に伸びるようになります。

又、男子バスケットボール日本選手権(天皇杯)12日では、千葉ジェッツふなばしが、東京を1点差で逆転勝ち、翌日の決勝では、栃木ブレックスを延長で1点を追う終了間際、富樫選手が3点シュートを決めて逆転勝ち、71-69で下して、大会史上7チーム目の3連覇を達成しました。そして、男子全国高校サッカー選手権準決勝で、流通経済大柏高校が、広島瀬戸内高校に5-0で完勝、青森山田高校との決勝戦では、関川選手の高いヘッドからのゴールがありましたが、1-3で破れてしまいました。尚、同校関川選手は、超高校級で鹿島アントラーズに内定し、次のステージでの活躍が期待されて居ります。

私の得意な囲碁、将棋部門では、1月7日と12日のテレビ放送で女流囲碁の部で10才の天才プロが誕生したとのニュースがありました。名前は「仲邑 董^{なかむらすみれ}」さんという丸顔で可愛い女の子です。囲碁界の井山裕太五冠と対局した事もありましたが、自分はその年令の時より強いと感想を述べて居られたそうです。

こんなに若くプロになるには、卓球の「泣き虫愛ちゃん」と同じく幼少期に両親からの英才教育があったからだと思えます。同じ卓球の張本智和選手(15)の妹、張本美和(10)もすでに代表選手として活躍しています。先日引退表明したレスリングの吉田沙保里(36)選手も、お父さんが道場を作り、3才から練習を始めたそうです。董さんも身近かに段持ちの方が居て、教えてくれたのだらうと非常に関心を持って居ります。

将棋界では、藤井聡太七段(16)の話題で持ち切りです。今年の目標は「進歩」だそうです。

宮間会長のあいさつの中でもお話がありましたが、18連勝のお話ですが、あれはC級1組と2組のお話で、あと2勝すれば来年はB組2組で出場出来ます。藤井七段は羽生先生始め、佐藤名人など上位のタイトル保持者と対戦した事もありますが、ほとんど負けていません。

最後に羽生永世七冠(48)は昨年12月末、広瀬八段に竜王戦で3勝4敗で敗れ、無冠となりましたが、勝てばタイトル100回の節目であったのですが、永世が付きます事は、7つのタイトルを5回以上を勝って永世七冠と呼ばれております。この実績は、これ迄達成した人はなく、いかに羽生さんが強いのかお解りになった事と思えます。昨年11月の対局で2,000局(7人目)を戦い、1,417勝、581敗で、勝率709厘で最年少、最速、最高勝率と、ずば抜けて強く、この羽生さんを追い越すのは、すでに通算100勝を達成した藤井聡太七段(16)しか居ないと思えます。

藤井聡太七段の現在持っているタイトルは、新人王だけです。

- | | | |
|----------------------|--------|------|
| ① 名人 | 佐藤 天彦 | (30) |
| ② 竜王 | 広瀬 章人 | (30) |
| ③ 棋聖 | 豊島 将之 | (28) |
| ④ 王位 | 〃 | |
| ⑤ 王将 | 久保 利明 | (43) |
| ⑥ 棋王 | 渡辺 明 | (34) |
| ⑦ 王座 | 斎藤 慎太郎 | (25) |
| 最近出来たタイトル | | |
| ⑧ 叡王 ^{えいおう} | 高見 泰地 | (25) |



藤井聡太七段(16歳)